

活動報告レポート

環境アドバイザー

氏名 田畑 貴子

1 概要

実施日、時間	令和 7年 9月 22日 (月) 9:45~10:45
実施団体	狭山市内保育園
対象者 (人数)	3~5歳児 47人
実施場所	保育室、保育園内の畑
講座等の名称	生ごみを畑の肥料にする
講座等の分野	⑬SDGs

2 活動内容

【活動内容】

- 1 短い紙芝居やクイズなどを通して調理室や家庭で捨てていた生ごみ(野菜の皮など)が土の中で暮す微生物(菌ちゃん)の栄養(ごはん)になる事や栄養をもらった微生物が野菜を美味しくしてくれる事を知る。
- 2 タライに入った生ごみを微生物が食べやすいように細かくし米ぬかと混ぜる。
- 3 畑に行き畝の上に2を置きその上に枯れ草、土をかけ最後にブルーシートで被う。

【参加者の様子】

子ども達が活動に興味を持てるように生ごみが畑の肥料になる事のみを伝えるのではなく、関心を持っている虫を糸口にし、同じ生き物である「菌ちゃんにごはんをあげる」という要素を加えました。

その為、野菜の皮を細かくちぎりながら「菌ちゃんこれくらい小さいのなら食べてくれるかな」「菌ちゃんが結婚して美味しい土を作ってくれる」「菌ちゃんが美味しい土を作ったら僕たちも大きくなれる」とニコニコしながら目には見えないけれども菌ちゃんに想いを寄せて活動をする子ども達の姿が見られました。

帰宅した子ども達が保護者に活動の事を話す事で、子ども達を通して持続可能な社会に向けての活動が家庭でも広がっていきけるようなれればと思っています。

3 活動写真



「土の中には何が住んでいるかな？」
子ども達「アリ！」「幼虫！」
「他にもみんなの眼には見えない小さな生き物も住んでいるんだよ」
子ども達「えー！？」
微生物の存在にとっても驚いていました。



「菌ちゃんこれくらい小さいのなら食べてくれるかな？」
「菌ちゃんが結婚して美味しい土を作ってくれる」
「菌ちゃんが美味しい土を作ったら僕たちも大きくなれる」
小さな手で一生懸命ちぎっていました。



小さくなった生ごみに米ぬかをまぶしました。そして出来上がったものを畑の畝にみんなで願いを込めて置きました。
「菌ちゃん いっぱい食べてね！」
「大きくなってね！」